

March
2014

The Record

vol.652

第28回 日本ゴールドディスク大賞 受賞作品発表!

2013年度「音楽メディアユーザー実態調査」公表



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集 第28回 日本ゴールドディスク大賞 受賞作品発表！	3
特報 2013年のレコード産業.....	7
2013年度「音楽メディアユーザー実態 調査」公表	9
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC	14

2/3

海賊版音楽DVDを販売して いた被疑者ら6名を逮捕

警視庁新宿署・野方署・練馬署・光が丘署・深川署の共同捜査本部は、権利者に無断で複製した音楽DVDを販売していたとして、東京都内在住の男性6名を著作権法違反の容疑で逮捕した。この事件は、被疑者らが新宿区内の店舗にて当協会会員社数社が権利を有する市販の音楽DVDを無断で複製し販売したものであり、警視庁新宿署などの共同捜査本部が1月22日に5名を現行犯逮捕し、2月1日に残り1名を通常逮捕している。当協会は警視庁からの依頼を受け、会員社とともに本件捜査に協力を行ってきた。

今回の事件は、知的財産権侵害に係る事件として警察が積極的な取締りを行った結果によるもので、この種の事件に対する大きな警鐘となるものである。当協会は、違法配信に対する対応を強化する一方、海賊版CD・DVDの対策も実施しており、今後も警察との連携を密にし、積極的な取り組みを行ってゆく。

2/12

第53回RIAJセミナー開催

2月12日、東京都港区の青山アイビーホールにおいて、第53回RIAJセミナーが開催された。今回のセミナーは、コンサルタントの榎本幹朗氏を講師に招き、「レコード会社の“未来”を語ろう ～人気連載“未来は音楽が連れてくる”EXTRA」をテーマに開催された。また、ユニバーサルミュージック合同会社の鈴木貴歩デジタル事

業開発部本部長に聞き手としてご登壇いただき、榎本氏が執筆されているmusicman-net連載「未来は音楽が連れてくる (<http://www.musicman-net.com/SPPJ01/>)」の番外編として講義を進めた。

はじめに、「コピー・モデル（所有権の時代）から、アクセス・モデル（アクセス権の時代）」へのモデル転換について、Spotifyに代表される「フリーミアム・モデル」の海外展開事例やマーケティング状況などを紹介した。また、360度ビジネスに関して「ハードウェアとの連携」「プラットフォームとしての新たな展開（Pandora・ミュージック・ディスクカヴァリーサービス）」「新興市場の開拓」などを次代のビジネスモデルへのヒントとして掲げたほか、世界のレコード産業の歴史を振り返り、過去の不況を乗り越えてきた過程を現在の状況と比較して論じた。

当日は、会員社の配信・デジタルビジネス部門や経営企画部、広報部門などを中心に96名が参加した。

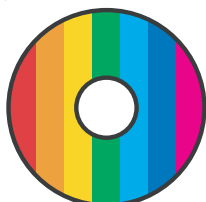


第6回CDショップ大賞2014 受賞作品発表！ ～大賞はマキシマム ザ ホルモンの『予襲復讐』～

CDショップ大賞実行委員会は「第6回CDショップ大賞2014」の授賞式を3月6日に東京都江東区のZepp Tokyoにて開催し、マキシマム ザ ホルモンの『予襲復讐』が大賞に選出され、授賞式に参列したメンバーに記念の盾が授与された。

「行かなきゃ 会えない 音がある。」のローガンのもと、全国のCDショップ店員が自ら「売りたい! 聴かせたい!」作品を選出するCDショップ大賞。2013年1月1日～12月31日に発売された邦楽オリジナルアルバムを対象に全国のCDショップ店員の投票により、下記受賞作品が選出された。

全国CDショップ店員が選んだ
「行かなきゃ 会えない 音がある。」



第6回CDショップ大賞2014

【第6回CDショップ大賞2014 受賞作品一覧】

【大賞】マキシマム ザ ホルモン 「予襲復讐」 VPCC-81770

【最優秀新人賞】KANA-BOON

※「DOPPEL」「僕がCDを出したら」の2作品が「入賞」と「ニュー・ブラッド賞」を受賞

【入賞】

アーティスト名	【タイトル】	品番
KANA-BOON	「DOPPEL」	KSCL-2315
KANA-BOON	「僕がCDを出したら」	RDCA-1030
クレープハイブ	「吹き零れる程の、哀、愛」	VICL-64040
ゲスの極み乙女。	「踊れないなら、ゲスになってしまえよ」	QYCL-10001
サカナクション	「sakanaction」	VICL-63999
パスピエ	「演出家出演」	WPCL-11424
Perfume	「LEVEL 3」	UPCP-1001
星野源	「Stranger」	VICL-63996
miwa	「Delight」	SRCL-8299
ONE OK ROCK	「人生×僕＝」	AZCS-1024

(アーティスト名50音順)

3月6日開催の授賞式の模様は次号にて掲載を予定。

RIAJ2014年2月度理事会議案

■ 審議事項

1. 米 Sound Exchange 社との二次使用料相互協定締結について
2. 「海外事業者に公平な課税適用を求める協議会」への加盟について
3. 臨時総会 (3月28日) 招集について

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) 「2014年音楽著作権管理者養成講座」後援名義使用申請について (MPA)
2. 法制委員会関係報告
 - (1) NHK との二次使用料協議について
 - (2) 文化庁・著作物等の適切な保護と利用・流通に関する WT (2/17) 報告
 - (3) 刑事事件 (海賊版音楽 DVD を販売した6名を逮捕) リリース
3. 著作権保護・促進センター (CPPC) 関係報告
 - (1) 2014年1月度の活動状況について
4. 情報・技術委員会関係報告
 - (1) オンラインプロモーション実証実験概要について
5. マーケティング委員会関係報告
 - (1) 4月1日以降の消費税引き上げに伴う価格表示対応等について
 - (2) レンタル問題協議会進捗報告
 - (3) 「第6回CDショップ大賞2014」受賞作品等について
 - (4) 2013年度「音楽メディアユーザー実態調査」報告
 - (5) 日本音楽家ユニオンからの申し入れについて
6. 広報委員会関係報告
 - (1) GOLD DISC FESTIVAL 及び第28回日本ゴールドディスク大賞について

第4回香港アジアポップミュージックフェスティバル (HKAMF) 開催

2014年3月28日、IFPI香港グループ (香港レコード協会) は、「第4回香港アジアポップミュージックフェスティバル (HKAMF)」を開催する。

同フェスティバルはIFPI香港グループが政府の助成を受け「Music in One Asia (音楽でアジアを一つに)」をテーマにアジア7カ国・地域 (日本・中国・台湾・香港・シンガポール・マレーシア・韓国) が参加し実施される新人コンテストを軸とした音楽イベントである。7地域が一丸となって新人アーティストをプロモートすることにより、各国の音楽産業の連携を強化・活性化することとあわせて中国本土に対するアプローチを目的としており、今回が4回目の開催となる。

日本の新人アーティストとしては、TarO&JirOがコンテストに出演する。

【第4回HKAMF開催概要】

主催：IFPI香港グループ (IFPI HKG)

支援：香港政府

日時：2014年3月28日 (金) 20:00～

会場：Hong Kong Convention and Exhibition Centre (HKCEC)

第28回 日本ゴールドディスク大賞受賞作品発表!

アーティスト・オブ・ザ・イヤーは、 (邦楽) AKB48が邦楽部門としては 史上初の3年連続受賞 (洋楽) ONE DIRECTIONが初受賞



当協会は、第28回日本ゴールドディスク大賞受賞作品を決定した。

日本ゴールドディスク大賞は1987年に制定され、対象期間（2012年11月1日～2013年12月31日）に発売された全作品の総出荷数から返品数を差し引いた正味売上実績と有料音楽配信の売上実績を集計、その結果に基づき、最も支持された作品・アーティストに対して授与されるものである。

今年度の受賞作品・アーティストは、59作品・アーティストとなり、「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の邦楽部門はAKB48が邦楽部門としては史上初の3年連続受賞、洋楽部門はONE DIRECTIONの初受賞となった。また、「ベスト・エイジアン・アーティスト」は、東方神起が初受賞、「ベスト・演歌／歌謡曲・アーティスト」の氷川きよしは2年ぶり7回目で同賞最多受賞となった。

アーティスト・オブ・ザ・イヤー

■ 邦楽 AKB48



- アルバム：306,829枚
- シングル：9,918,479枚
- 音楽ビデオ：750,771枚
- 音楽配信：4,039,696ダウンロード

受賞コメント

この度、日本ゴールドディスク大賞の「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を邦楽では史上初の3年連続で受賞させていただきました。本当にみなさん、ありがとうございます。売り上げや記録にこだわって活動してきた訳ではありませんが、沢山の方に自分たちの曲を聴いていただき、手に取っていただき、愛していただいているのかなと思うと、とても嬉しくて光栄です。これからもAKB48は応援して下さいのみなさんに元気や笑顔を届けられる活動を続けていきたいと思っています。一生懸命、日々精進しますので、2014年もAKB48の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

AKB48の「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」「シングル・オブ・ザ・イヤー」「ベスト5シングル（5曲独占）」は史上初3年連続の同時受賞の快挙、このほかにも「ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード」「ベスト5ソング・バイ・ダウンロード」も受賞し、9冠の栄誉に輝いた。

■ 洋楽 ONE DIRECTION



- アルバム：672,701枚
- シングル：45,398枚
- 音楽ビデオ：49,455枚
- 音楽配信：1,399,354ダウンロード

受賞コメント

去年は2度も日本に行くことができました。1度は僕たち全員初めての日本でした。そして2度目は昨年通じて130公演以上行ってきたツアーのファイナルを日本で迎えることができました。日本のファンみんなに会うことができ、そして、こうして「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」や「アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞することができて、本当に最高の1年になりました。僕たちにとって日本は大好きな国の1つになりました。そして、日本のファンは世界1です。アイシテマス！

昨年「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」を受賞し、世界中で大旋風を巻き起こしているONE DIRECTIONは「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」初受賞の栄冠に加え、セカンドアルバム『テイク・ミー・ホーム』で「アルバム・オブ・ザ・イヤー」「ベスト3アルバム」を受賞。

ベスト・エイジアン・アーティスト

東方神起



受賞コメント

ユンホ：今回僕たち東方神起のアルバム「TIME」が、ゴールドディスク大賞を受賞したということでもうれしいです！これも、応援していただいている皆さんのおかげです、本当にありがとうございます！もっともっと頑張っていきます！

チャンミン：素敵な賞をいただくことができ、応援していただいた皆さんにとっても感謝しています！ありがとうございます！2013年は、僕たちの夢がたくさん叶ったとても素敵な1年でした。2014年も、もっと素敵な1年になるように頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします！

「ベスト・エイジアン・アーティスト」を初受賞。『TIME』が「アルバム・オブ・ザ・イヤー」「ベスト3アルバム」を受賞したほか、『Catch Me -If you wanna-』で「ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード」さらに『東方神起 LIVE TOUR 2013 ~ TIME ~』で「ベスト・ミュージック・ビデオ」の5冠を獲得。

ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー（邦楽）

クリス・ハート



受賞コメント

このたびは「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」と「企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー」をいただき、ありがとうございました。応援してくれたみんな、そしてスタッフのお蔭でこのアルバム「Heart Song」ができましたが、このアルバムは僕が影響された曲や思い出の曲が全部入っていて、本当に大事にしているアルバムです。何よりもいろんな出会いがあってみんなと一緒にこの素敵な曲をシェア出来て、とても嬉しく思っています。これからもオリジナル曲もカバー曲も一生懸命頑張りたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

対象期間中にデビューしたアーティストのうち、作品・楽曲の売上合計が最も多いアーティストに贈られる「ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー」（邦楽）は、クリス・ハートが受賞。J-POPカバーアルバム『Heart Song』では「企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー」も受賞。

アルバム・オブ・ザ・イヤー（邦楽）

LOVE／嵐



受賞コメント

僕ら嵐のアルバム「LOVE」が、2013年の「アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞できましたのは、まさしく多くのファンの方々の「LOVE」のおかげです。いつも応援していただき、ありがとうございます。音楽活動を通じ、より良いパフォーマンスで、さらに大きな「LOVE」をお返しできるよう頑張りますので、これからも応援をよろしくお願いいたします。

対象期間中に発売されたアルバムで最も売上が多い作品に授与される「アルバム・オブ・ザ・イヤー」（邦楽）は、嵐12枚目のオリジナル・アルバム『LOVE』が受賞。今回嵐は「ベスト・ミュージック・ビデオ」も『ARASHI LIVE TOUR Popcorn』『アラフェス』の2作品で受賞。

シングル・オブ・ザ・イヤー

さよならクロール／AKB48



受賞コメント

4年連続の「シングル・オブ・ザ・イヤー」を『さよならクロール』で受賞させていただきました。そして3年連続の「ベスト5シングル」独占ということで、本当に嬉しいです。ここまでやってこられたのはファンのみなさんに沢山聴いていただいたおかげであり、老若男女問わず沢山の方に愛されるようになったなということ、少しずつですが実感しています。みなさんの笑顔が見たくて日々活動している私たちにとって、（この受賞は）本当に嬉しいです。

ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード（邦楽）

恋するフォーチュンクッキー／AKB48



受賞コメント

配信部門トップの「ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード」を『恋するフォーチュンクッキー』で受賞させていただきました。配信部門では（AKB48は）初めての受賞ですが、この曲は沢山の方に聴いていただいて、動画サイトでは沢山の方が踊ってくださって、本当に沢山の方に愛していただけでとても嬉しかったです。ありがとうございました。

AKB48は、昨年唯一の2ミリオン認定*作品『さよならクロール』で「シングル・オブ・ザ・イヤー」を4年連続受賞、さらにYouTubeでも大反響を起こした『恋するフォーチュンクッキー』で「ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード」も受賞。

*2ミリオン認定

当協会では毎月、累計正味出荷枚数が10万以上でゴールド、25万以上でプラチナ、100万以上でミリオン、200万以上で2ミリオンという基準にしたがい、ゴールドディスクの認定を実施。

第28回 日本ゴールドディスク大賞 受賞一覧

※ 同一賞内のアーティストおよび同一アーティストの作品は、すべて五十音順

アーティスト賞

アーティスト・オブ・ザ・イヤー		対象期間中の作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト	
邦楽	AKB48	キングレコード、avex group、デフスターレコーズ、AKS	
洋楽	ONE DIRECTION	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	

ベスト・エイジアン・アーティスト		同区分該当アーティストの内、対象期間中の作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト	
アジア	東方神起	エイベックス・マーケティング	

ベスト・演歌／歌謡曲・アーティスト		同ジャンル該当アーティストの内、対象期間中の作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト	
	氷川きよし	日本コロムビア	

ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー		ニュー・アーティスト賞受賞者の内、作品・楽曲の正味売上金額の合計が最も多いアーティスト	
邦楽	クリス・ハート	ユニバーサル ミュージック	
洋楽	Little Mix	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	
アジア	B.A.P	キングレコード	

ベスト5ニュー・アーティスト		対象期間中にデビューした邦楽アーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計の上位5組	
邦楽	HKT48	ユニバーサル ミュージック	
	クリス・ハート	ユニバーサル ミュージック	
	ケラケラ	ユニバーサル ミュージック	
	GENERATIONS	エイベックス・マーケティング	
	ハジ→	ユニバーサル ミュージック	

ベスト3ニュー・アーティスト		対象期間中にデビューした洋楽アーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計の上位3組	
洋楽	ザ・ストライプス	ユニバーサル ミュージック	
	ジェイク・パグ	ユニバーサル ミュージック	
	Little Mix	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	

ベスト3ニュー・アーティスト		対象期間中にデビューしたアジア諸国のアーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計の上位3組	
アジア	ソ・イングク	日本クラウン	
	B.A.P	キングレコード	
	リン・ユーチン	ユニバーサル ミュージック	

ベスト・演歌／歌謡曲・ニュー・アーティスト		対象期間中にデビューした同ジャンル該当アーティストで、作品・楽曲の正味売上金額合計が最も多いアーティスト	
	川上大輔	ワーナーミュージック・ジャパン	

アルバム賞

アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚（組）数が最も多い作品	
邦楽	LOVE	嵐	ジェイ・ストーム
洋楽	TAKE ME HOME	ONE DIRECTION	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
アジア	TIME	東方神起	エイベックス・マーケティング

ベスト5アルバム		対象期間中に発売されたアルバムの正味売上枚（組）数上位5作品	
邦楽	LOVE	嵐	ジェイ・ストーム
	EXILE BEST HITS -LOVE SIDE / SOUL SIDE-	EXILE	エイベックス・マーケティング
	B'z The Best XXV 1988-1998	B'z	バーミリオンレコード
	松任谷由実 40周年記念ベストアルバム 日本の恋と、ユーミンと。 [(an imitation) blood orange]	松任谷由実	ユニバーサル ミュージック
		Mr.Children	トイズファクトリー

ベスト3アルバム		対象期間中に発売されたアルバムの正味売上枚（組）数上位3作品	
洋楽	アンオーソドックス・ジュークボックス	ブルーノ・マーズ	ワーナーミュージック・ジャパン
	アートポップ	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック
	TAKE ME HOME	ONE DIRECTION	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

ベスト3アルバム		対象期間中に発売されたアルバムの正味売上枚（組）数上位3作品	
アジア	GIRLS' GENERATION II ~Girls & Peace ~	少女時代	ユニバーサル ミュージック
	LOVE&PEACE	少女時代	ユニバーサル ミュージック
	TIME	東方神起	エイベックス・マーケティング

クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
祈り～未来への歌声	海上自衛隊東京音楽隊 (指揮:河邊一彦 ソプラノ:三宅由佳莉)	ユニバーサル ミュージック	
ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
DELICIOUS ～JUJU's JAZZ 2nd Dish～	JUJU	ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ	
インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
2CELLOS2～IN2ITION～COLLECTOR'S EDITION	2CELLOS	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	
サウンドトラック・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
レ・ミゼラブル～サウンドトラック	V.A.	ユニバーサル ミュージック	
アニメーション・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
銀魂BEST3	銀魂	アニプレックス	
純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
第四十九回 日本コロムビア全国吟詠コンクール課題吟 白芍薬	日本コロムビア吟詠音楽会	日本コロムビア	
企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたアルバムで正味売上枚(組)数が最も多い作品	
Heart Song	クリス・ハート	ユニバーサル ミュージック	

シングル賞

シングル・オブ・ザ・イヤー		対象期間中に発売されたシングルで正味売上枚数が最も多い作品	
さよならクロール	AKB48	キングレコード	
ベスト5シングル		対象期間中に発売されたシングルの正味売上枚数上位5作品	
永遠プレッシャー	AKB48	キングレコード	
恋するフォーチュンクッキー	AKB48	キングレコード	
さよならクロール	AKB48	キングレコード	
鈴懸の木の道で「君の微笑みを夢に見る」と言ってしまったら僕たちの関係はどう変わってしまうのか、僕なりに何日か考えた上でのやや気恥ずかしい結論のようなもの	AKB48	キングレコード	
ハート・エレキ	AKB48	キングレコード	

配信楽曲賞

ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード		対象期間中に配信が開始された有料ダウンロード数の合計が最も多い作品 (シングルトラック)	
邦楽	恋するフォーチュンクッキー	AKB48	キングレコード
洋楽	影武者	2CELLOS	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル
アジア	Catch Me -If you wanna-	東方神起	エイベックス・マーケティング
ベスト5ソング・バイ・ダウンロード		対象期間中に配信が開始された有料ダウンロード数合計の上位5作品 (シングルトラック)	
	恋するフォーチュンクッキー	AKB48	キングレコード
	にんじゃりばんばん	きゃりーぱみゅぱみゅ	ワーナーミュージック・ジャパン
	スターレイション	ケラケラ	ユニバーサル ミュージック
	恋する季節	ナオト・インティライミ	ユニバーサル ミュージック
	サラバ、愛しき悲しみたちよ	ももいろクローバーZ	キングレコード

ビデオ賞

ベスト・ミュージック・ビデオ		対象期間中に発売されたビデオの正味売上枚(組)数、上位3作品(邦楽)、最も多い作品(洋楽・アジア)	
邦楽	namie amuro 5 Major Domes Tour 2012 ～20th Anniversary Best～ ARASHI LIVE TOUR Popcorn アラフェス	安室奈美恵 嵐 嵐	エイベックス・マーケティング ジェイ・ストーム ジェイ・ストーム
洋楽	ケベック・マグネティック～戦場の夜	メタリカ	ユニバーサル ミュージック
アジア	東方神起 LIVE TOUR 2013 ～TIME～	東方神起	エイベックス・マーケティング

備考(対象期間)2012年11月1日～2013年12月31日

2013年のレコード産業

2013年のレコード産業の概要

音楽ソフトの年間生産金額は数量、金額ともに2桁ダウンとなり昨年と一転して非常に厳しい結果に

2013年の音楽ソフト（オーディオレコード+音楽ビデオ）総生産実績は、数量が対前年比85%の2億4,770万枚/巻、金額は前年比87%の2,705億円となり、数量、金額ともに対前年比2桁ダウンの落ち込みをみせ、昨年と一転して非常に厳しい結果となった。ミリオン認定作品がシングルのみであったことからもうかがえるように、アルバムが数量、金額ともに対前年比2桁ダウンと大苦戦を強いられたことが大きな要因である。

音楽ビデオについても、数量が対前年比78%の5,686万枚/巻、金額が同87%の720億円と2桁ダウンとなったものの、ブルーレイディスクに関しては、数量が143%の568万枚/巻、金額で139%の169億円と好調が続いており、DVDからブルーレイディスクへの市場移行の傾向がみられる。

有料音楽配信は4年連続でダウンとなるもののPC配信・スマートフォンは数量、金額共に前年比プラスを持続、サブスクリプションサービスも急伸など市場転換による新サービス展開が更なる成長のキーに

有料音楽配信は前年比77%の417億円となり対前年比ダウンは4年連続、ピークだった2009年の5割程度まで落ち込んだ。フィーチャーフォン向け配信の大幅な落ち込みが要因である一方、PC・スマートフォンの配信売上はシングルトラック、アルバムが数量、金額ともに2桁アップの成長をみせ、「フィーチャーフォンからPC・スマートフォン」への音楽配信市場の転換が決定的となった。さらにPC・スマートフォン向けのサブスクリプションサービスは対前年比518%の27億円と急成長を遂げ、引き続きの市場成長への布石になると予想される。

オンデマンド配信、インターネットラジオ、ハイレゾ配信など多様化が進む配信ビジネスの活性化が、市場回復の起爆剤となることを期待したい。

2013年音楽ソフト総生産

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		数量	前年 同月比	金額	前年 同月比	
オーディオレコード	8cmCD	邦	43	85%	22	56%
		洋	1	87%	0	76%
		計	44	85%	22	56%
	12cmCD	邦	59,875	94%	42,439	98%
		洋	681	56%	508	54%
		計	60,556	93%	42,947	97%
	小計	邦	59,918	94%	42,461	98%
		洋	681	56%	508	54%
		計	60,600	93%	42,969	97%
	12cmCD アルバム	邦	96,952	85%	123,726	84%
		洋	31,185	87%	29,491	89%
		計	128,137	85%	153,217	85%
	CD 合計	邦	156,870	88%	166,187	87%
		洋	31,867	86%	29,999	88%
		計	188,737	88%	196,186	87%
アナログ ディスク	邦	131	70%	195	109%	
	洋	137	52%	213	43%	
	計	268	59%	408	61%	
カセット テープ	邦	1,386	77%	1,143	78%	
	洋	1	20%	1	108%	
	計	1,387	77%	1,144	78%	
その他	邦	164	77%	215	92%	
	洋	289	73%	507	70%	
	計	453	74%	723	75%	
合計	邦	158,552	88%	167,740	87%	
	洋	32,293	85%	30,720	87%	
	計	190,845	88%	198,460	87%	
音楽ビデオ	DVD	邦	48,771	76%	52,378	79%
		洋	2,398	53%	2,692	54%
		計	51,170	75%	55,069	78%
	Blu-ray Disc	邦	5,427	153%	16,206	147%
		洋	257	58%	725	63%
		計	5,684	143%	16,931	139%
	テープ・その他		4	39%	8	46%
合計	邦	54,202	80%	68,591	89%	
	洋	2,655	54%	3,417	56%	
	計	56,857	78%	72,008	87%	
オーディオ・音楽ソフト	オーディオ	計	190,845	88%	198,460	87%
	音楽ビデオ	計	56,857	78%	72,008	87%
	合計	邦	212,754	86%	236,332	88%
		洋	34,949	82%	34,136	82%
計	247,702	85%	270,468	87%		
含音楽ビデオ	DVD		89,114	83%	129,540	87%
	テープ・その他		21,913	133%	65,652	139%
	合計		111,027	89%	195,192	100%
オーディオ/ビデオ合計			301,872	88%	393,652	93%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

2013年有料音楽配信売上実績

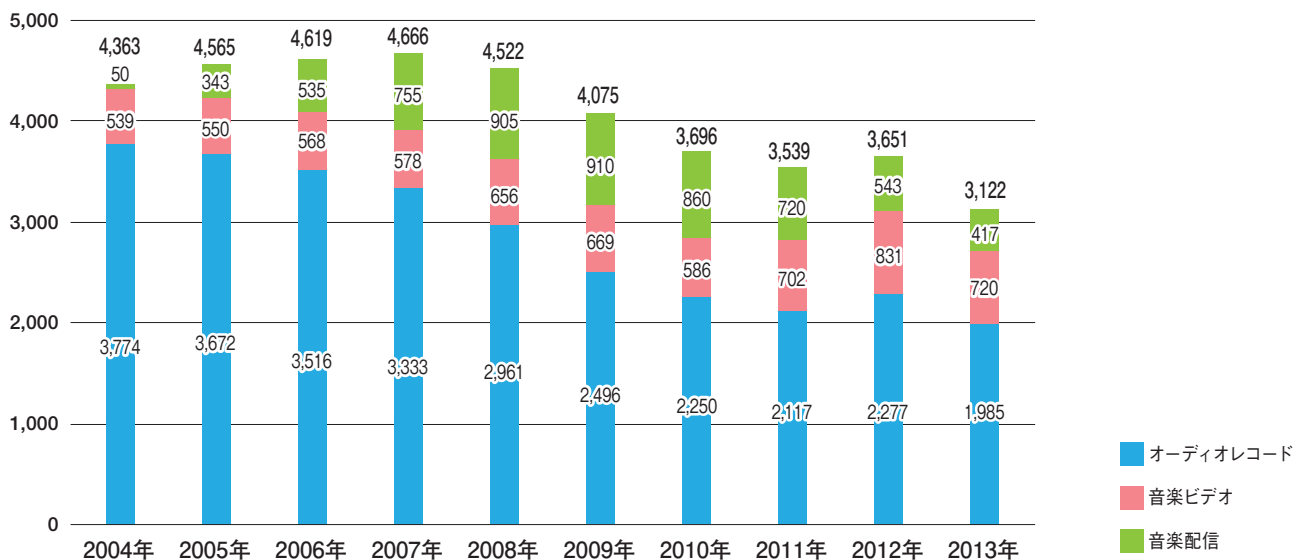
(数量:千回/金額:百万円)

形態	2013年1月～2013年12月 累計				
	数量	前年同期比	金額	前年同期比	
Master ringtones	22,284	49%	2,025	44%	
Ringback tones	64,055	82%	4,905	71%	
シングルトラック	PC 配信・スマートフォン	91,634	131%	14,846	122%
	フィーチャーフォン	28,578	44%	7,751	36%
	小計	120,212	89%	22,596	67%
アルバム	PC 配信・スマートフォン	6,573	144%	6,910	134%
	フィーチャーフォン	17	-	10	-
	小計	6,590	144%	6,919	134%
音楽ビデオ	PC 配信・スマートフォン	2,260	96%	608	95%
	フィーチャーフォン	1,029	38%	358	33%
	小計	3,289	65%	967	56%
その他	サブスクリプション (PC 配信・スマートフォン)	-	-	2,725	518%
	サブスクリプション (フィーチャーフォン)	-	-	335	70%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	-	-	1,188	84%
	小計	-	-	4,249	175%
総合計	216,430	80%	41,661	77%	

注：数量…ダウンロード回数

レコード産業の生産実績の推移

(単位:億円)



※生産実績ベース（音楽配信は売上ベース）

※音楽配信は2005年から統計を開始（2004年は推定値）

2013年度「音楽メディアユーザー実態調査」公表

当協会では、音楽メディアの需要構造を総合的に把握することを主な目的として、1986年以降、「音楽メディアユーザー実態調査」を毎年実施し、今年で28回を迎えた。本誌では、概要を中心にダイジェストで紹介する。

【調査概要】

項目	内容
調査対象者	12～69歳男女
調査地域	全国
調査方法	インターネットアンケート調査
調査時期	2013年8月

※本調査分析では、右表のとおり性年代・地域別に概ね均等に回収した。また、居住エリアに偏り無く回収するため、各セルについて「都市部」と「それ以外」に分けて、それぞれ等分に回収した。
 ※集計においては、平成22年度国勢調査を参照し、実際の人口構成比に合わせて補正集計する「ウェイトバック集計」を採用した。本資料で掲載するN数はウェイトバック集計後のN数を表記している。

※詳細が掲載されている本調査報告書は当協会ホームページよりダウンロードできます。

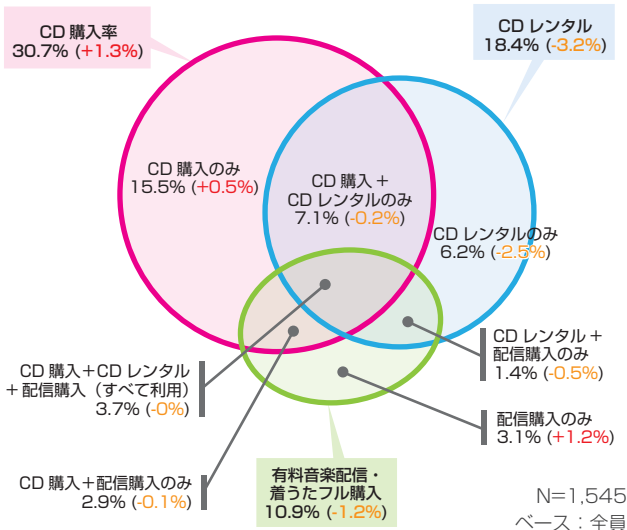
URL : <http://www.riaj.or.jp/report/mediauser/index.html>

【回収数】

		北海道・東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国・四国・九州地方	計
男性	中学生	11	17	13	19	13	73
	高校生	22	17	17	14	21	91
	大学生	19	20	19	16	15	89
	20代社会人	21	20	22	20	20	103
	30代	19	20	20	21	22	102
	40代	20	20	20	22	20	102
	50代	20	20	20	20	21	101
60代	20	20	20	20	20	100	
女性	中学生	17	20	12	17	15	81
	高校生	20	19	21	18	21	99
	大学生	20	19	22	18	19	98
	20代社会人	20	17	22	21	22	102
	30代	20	20	21	22	19	102
	40代	20	20	20	21	21	102
	50代	20	20	20	20	20	100
60代	20	20	20	20	20	100	
計		309	309	309	309	309	1,545

新品CD購入、CDレンタル利用、有料音楽配信・着うたフル購入の相互関係

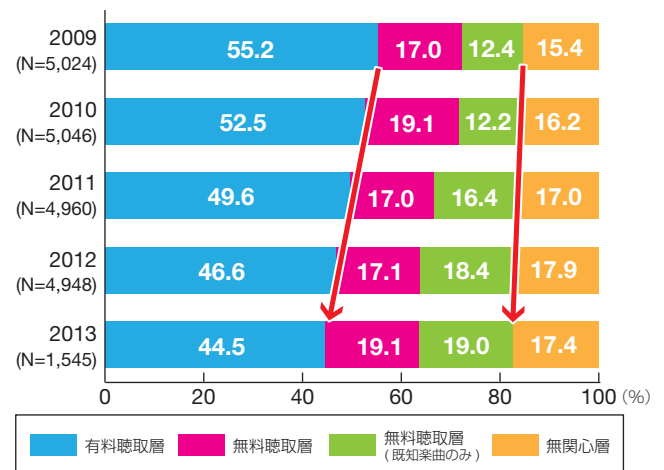
(括弧内は昨年からの変化)



注1) CD購入、CDレンタル、有料音楽配信・着うたフル購入についてそれぞれ過去半年間以内の購入率・レンタル率(1作品以上購入/レンタル)を表す
 注2) CDは新品のみを集計。中古CDに係る購入は含まれない
 注3) 「有料音楽配信・着うたフル」については、有料音楽配信または着うたフルを購入した場合を表す。便宜上、図中はその他表記は「配信」と記載
 注4) CD購入、CDレンタル、有料音楽配信のいずれについても、アルバムまたはシングルを購入・レンタルした場合を表す

音楽との関わり方に関するセグメント構成比

「有料聴取層」の減少は変わらず。「無料聴取層(既知楽曲のみ)」が5年間で増加傾向が見られる。(単一回答)



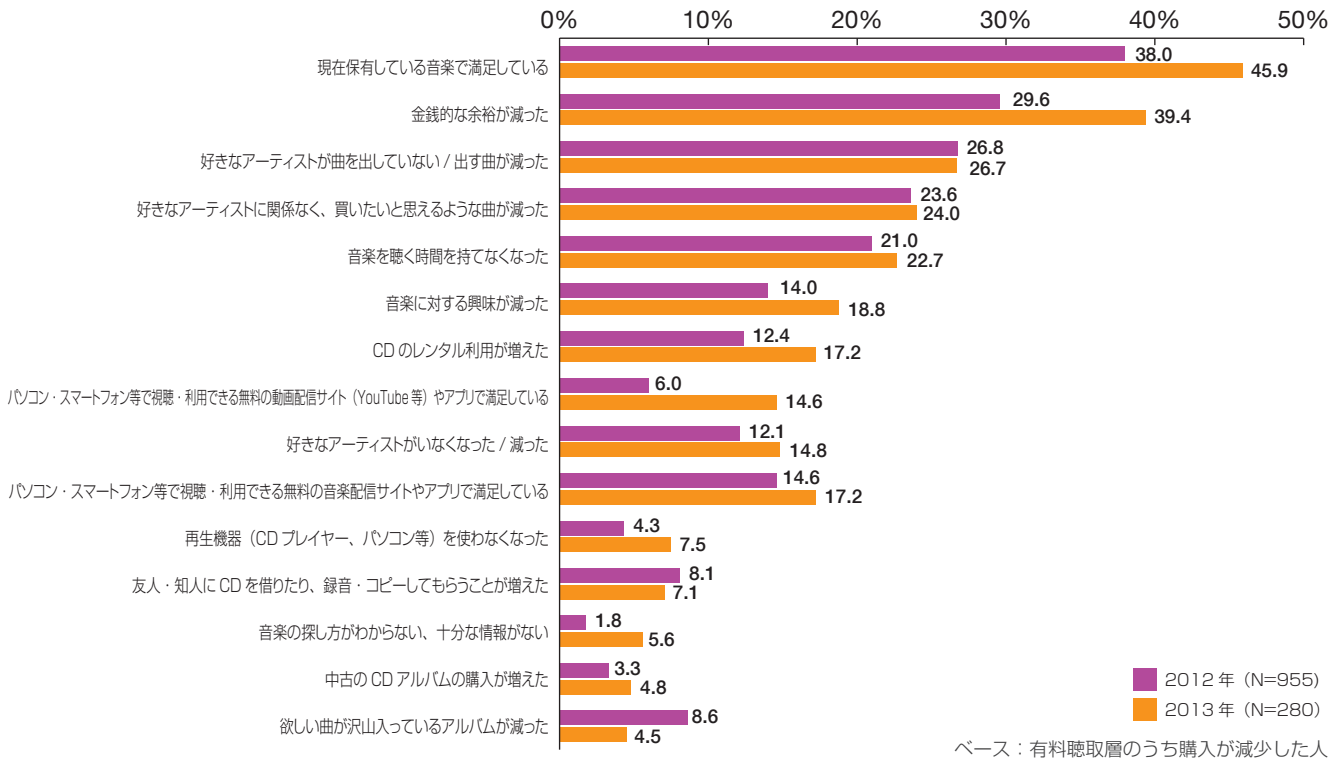
有料聴取層:「音楽を聴くために、音楽商品を購入したり、お金を支払ったりしたことがある」
無料聴取層:「音楽にお金を支払っていないが、新たに知った楽曲も聴いている」
無料聴取層(既知楽曲のみ):「音楽にお金を支払っておらず、以前から知っていた楽曲しか聴いてない」
無関心層:「音楽にお金を支払っておらず、特に自分で音楽を聴こうとしていない」

有料聴取層における購入減少の背景

購入減少理由については、「現在保有している音楽で満足」(45.9%)、「金銭的な余裕が減った」(39.4%) が特に増加。スマホ利用者増を背景に、「無料動画配信サイト・アプリで満足している」(14.6%)、という理由も大幅に増加。

(複数回答)

【CD・音楽配信・着うたフル購入全般に係る減少理由】

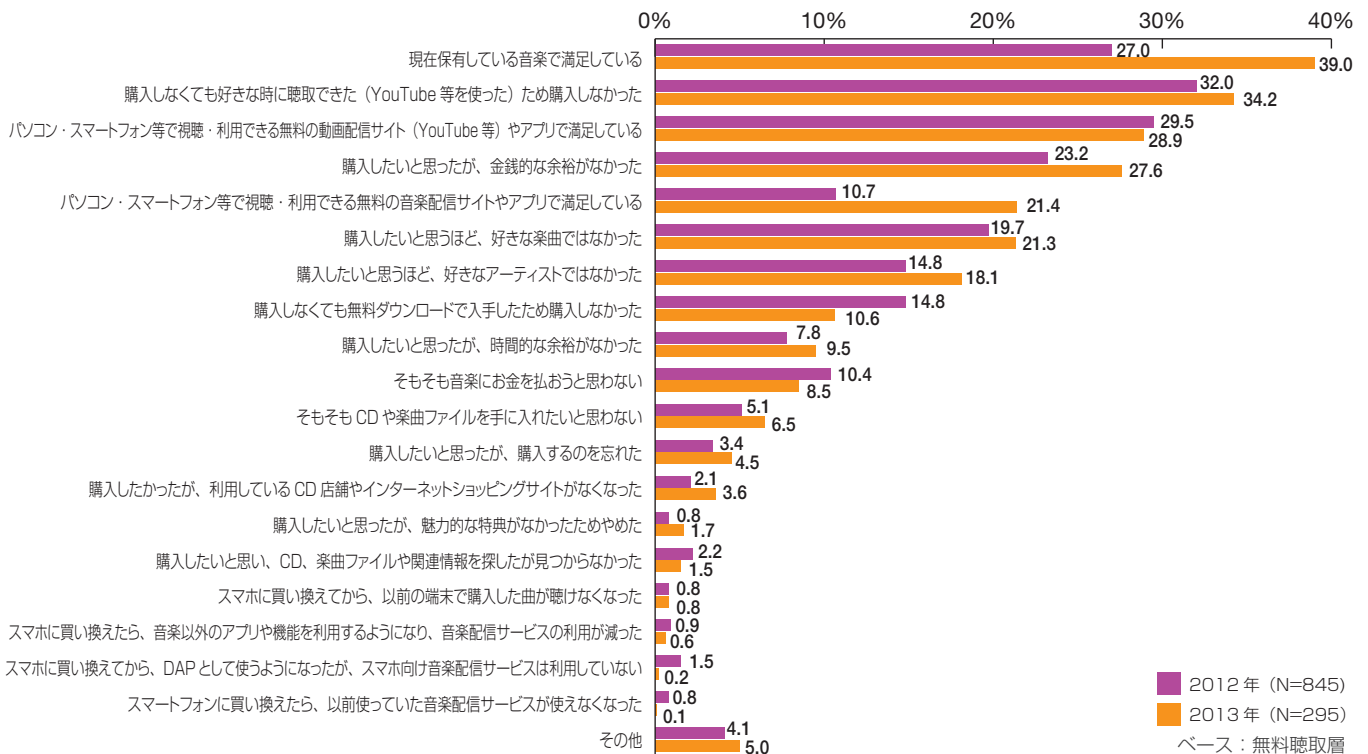


無料聴取層の非購入理由

無料聴取層の非購入理由を見ると、昨年と比べて「現在保有している音楽で満足」(39.0%) が大幅に増加。また、YouTube等の代替手段による理由(34.2% ※昨年は最多)も根強い。

(複数回答)

【無料聴取層の非購入理由】

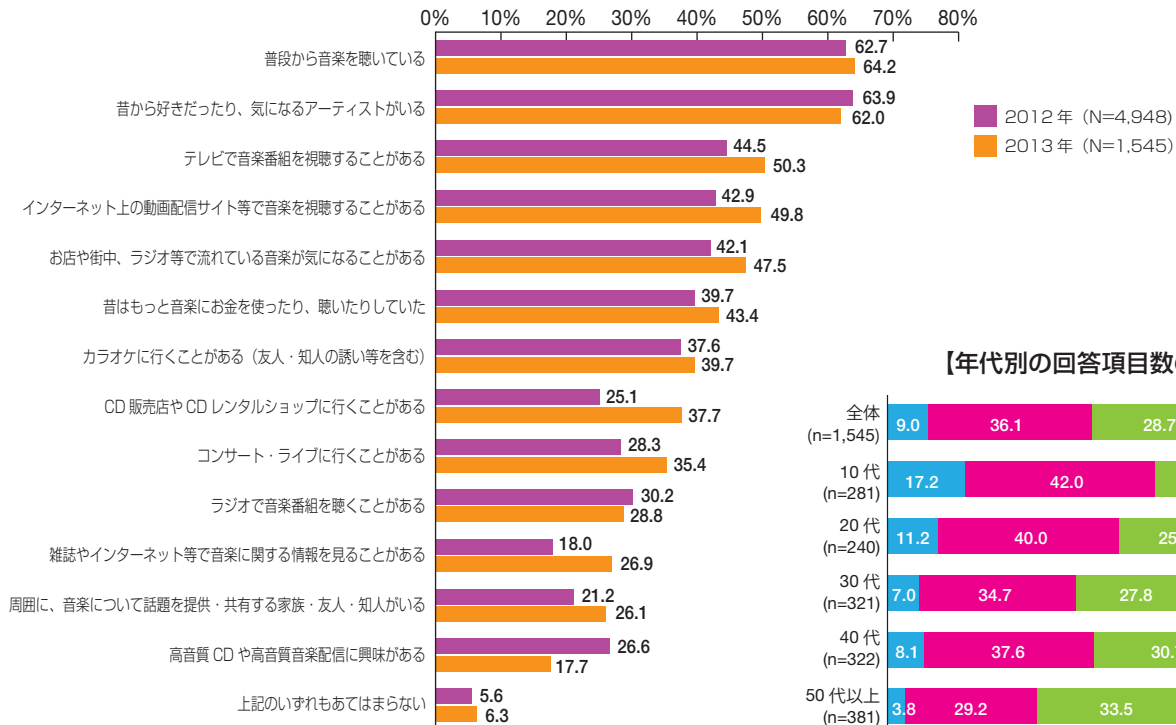


音楽との関わり方

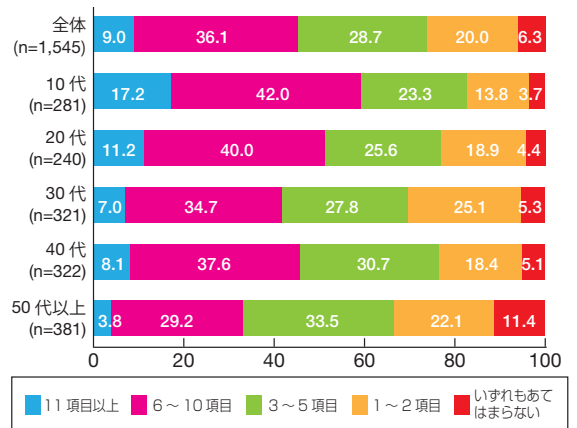
音楽と何らかの接点を有する人は、全体の9割強で、昨年と同様の結果。10代が最も接点が多い傾向にあり、2割弱がヘビーユーザー（11項目以上）に相当する。50代以上に次いで接点が少ないのは30代。

（複数回答）

【生活における音楽の接点】



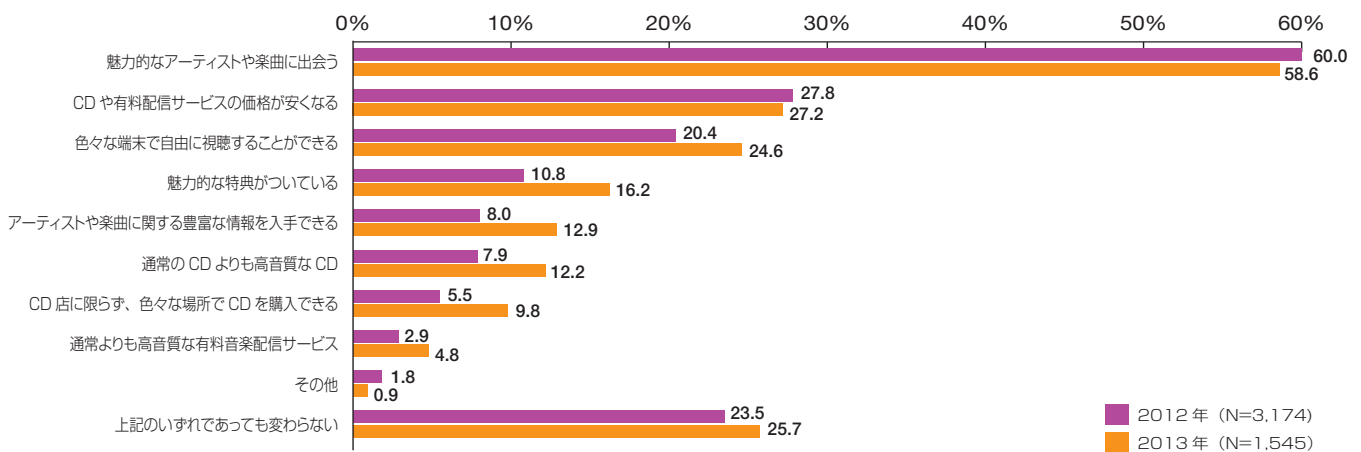
【年代別の回答項目数の割合】



ベース：全員

需要喚起策に対する意向

音楽支出を促進する要素としては「魅力的なアーティストや楽曲に出会う」(58.6%) が最も高く、次いで、「CD や有料配信サービスの価格が安くなる」(27.2%)。



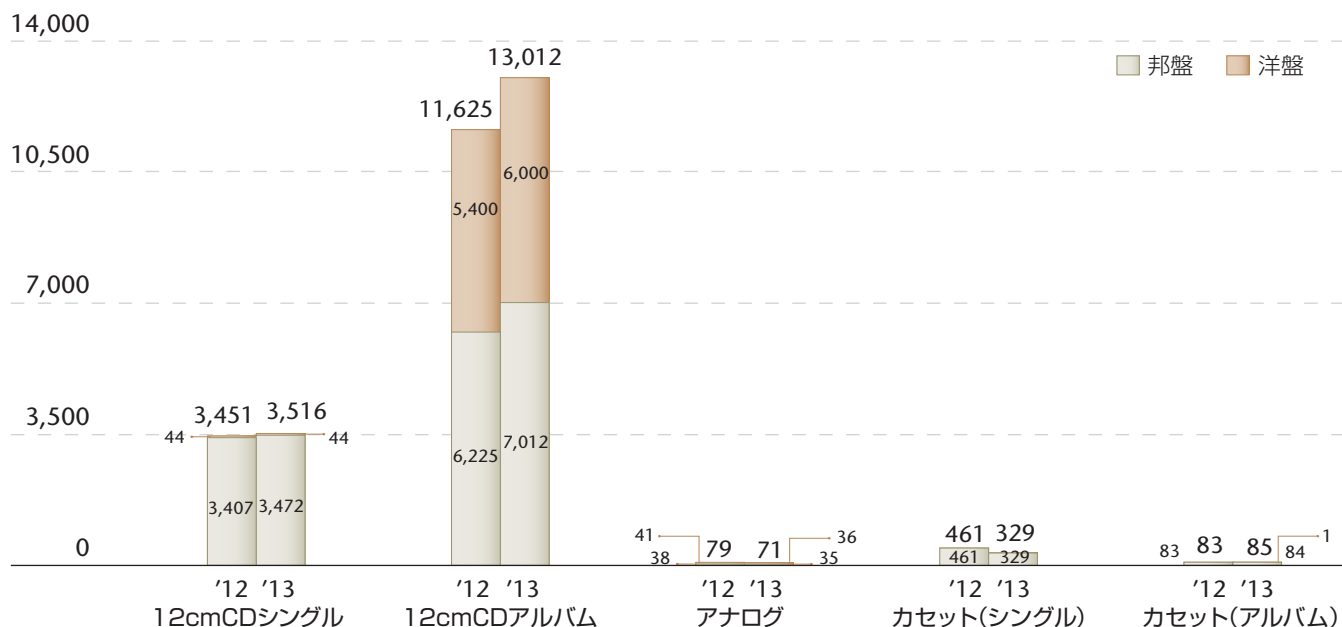
ベース（それぞれ異なるため留意）
 2012年：音楽支出が「減った」「全く無くなった」と回答した人
 2013年：全員

2013年1月～12月新譜タイトル数

2013年（平成25年）の1月から12月に発売された新譜タイトル数がまとまった。オーディオレコードは前年比108%の17,013タイトルとなった。

● オーディオレコード新譜数

単位：タイトル



● オーディオレコードジャンル別新譜数

単位：タイトル

ジャンル	8cmCD	12cmCD			アナログ	カセット		合計	
		シングル	アルバム	計		シングル	アルバム		
邦盤	演歌	0	570	500	1,070	1	313	82	1,466
	ポップス	0	1,628	2,504	4,132	5	8	1	4,146
	ニューミュージック	0	809	2,504	3,313	29	0	0	3,342
	小計	0	3,007	5,508	8,515	35	321	83	8,954
	軽音楽	0	13	377	390	0	0	0	390
	民謡・純邦楽	0	18	74	92	0	8	0	100
	教育・教材・童謡・童話	0	6	196	202	0	0	0	202
	アニメーション	0	396	436	832	0	0	0	832
	クラシック	0	0	132	132	0	0	0	132
	カラオケ	0	20	0	20	0	0	0	20
その他	0	12	289	301	0	0	1	302	
邦盤計	0 (-)	3,472 (102%)	7,012 (113%)	10,484 (109%)	35 (92%)	329 (71%)	84 (101%)	10,932 (107%)	
洋盤	ロック・ダンス	0	9	2,399	2,408	13	0	0	2,421
	ジャズ・フュージョン	0	0	1,262	1,262	17	0	0	1,279
	ポピュラーソング	0	34	783	817	1	0	0	818
	映画音楽	0	0	204	204	0	0	1	205
	その他	0	0	27	27	0	0	0	27
	小計	0	43	4,675	4,718	31	0	1	4,750
	クラシック	0	1	1,314	1,315	5	0	0	1,320
	その他	0	0	11	11	0	0	0	11
洋盤計	0 (-)	44 (100%)	6,000 (111%)	6,044 (111%)	36 (88%)	0 (-)	1 (-)	6,081 (111%)	
合計	0 (-)	3,516 (102%)	13,012 (112%)	16,528 (110%)	71 (90%)	329 (71%)	85 (102%)	17,013 (108%)	

() 内は対前年比

● ビデオジャンル別新譜数

単位：タイトル

ジャンル	ディスク		テープ	合計
	DVD	ブルーレイディスク		
邦楽	871	450	0	1,321
洋楽	369	99	0	468
カラオケ	144	0	0	144
合計	1,384 (102%)	549 (156%)	0 (-)	1,933 (113%)

() 内は対前年比

Monthly Production Report

2014年1月度レコード生産実績

1月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比109%の1,653万枚・巻、金額で同121%の193億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比107%の1,255万枚・巻、金額で同101%の121億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比118%の399万枚・巻、金額で同181%の72億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			1月実績						2014年1月～2014年1月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
シ	8cmCD	邦	1	0	100%	1	0	130%	1	0	100%	1	0	130%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
		計	1	0	100%	1	0	130%	1	0	100%	1	0	130%
ン	12cmCD	邦	3,299	26	85%	2,381	20	75%	3,299	26	85%	2,381	20	75%
		洋	10	0	66%	7	0	189%	10	0	66%	7	0	189%
		計	3,310	26	85%	2,388	20	75%	3,310	26	85%	2,388	20	75%
グ	小計	邦	3,301	26	85%	2,382	20	75%	3,301	26	85%	2,382	20	75%
		洋	10	0	66%	7	0	189%	10	0	66%	7	0	189%
		計	3,311	26	85%	2,389	20	75%	3,311	26	85%	2,389	20	75%
ル	12cmCD アルバム	邦	6,792	54	120%	7,495	62	109%	6,792	54	120%	7,495	62	109%
		洋	2,246	18	113%	2,041	17	116%	2,246	18	113%	2,041	17	116%
		計	9,038	72	118%	9,535	78	110%	9,038	72	118%	9,535	78	110%
CD 合計	邦	10,092	80	106%	9,876	81	98%	10,092	80	106%	9,876	81	98%	
	洋	2,257	18	113%	2,048	17	116%	2,257	18	113%	2,048	17	116%	
	計	12,349	98	107%	11,924	98	101%	12,349	98	107%	11,924	98	101%	
アナログ ディスク	邦	15	0	54%	33	0	96%	15	0	54%	33	0	96%	
	洋	3	0	85%	4	0	70%	3	0	85%	4	0	70%	
	計	18	0	58%	37	0	92%	18	0	58%	37	0	92%	
カセット テープ	邦	116	1	97%	94	1	97%	116	1	97%	94	1	97%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	
	計	116	1	97%	94	1	97%	116	1	97%	94	1	97%	
その他	邦	38	0	287%	45	0	210%	38	0	287%	45	0	210%	
	洋	26	0	77%	47	0	68%	26	0	77%	47	0	68%	
	計	64	1	135%	92	1	102%	64	1	135%	92	1	102%	
合計	邦	10,260	82	106%	10,049	83	98%	10,260	82	106%	10,049	83	98%	
	洋	2,286	18	112%	2,099	17	114%	2,286	18	112%	2,099	17	114%	
	計	12,547	100	107%	12,148	100	101%	12,547	100	107%	12,148	100	101%	

● 音楽ビデオ

			1月実績						2014年1月～2014年1月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	邦	3,327	83	109%	5,075	71	166%	3,327	83	109%	5,075	71	166%	
	洋	140	4	136%	147	2	108%	140	4	136%	147	2	108%	
	計	3,467	87	110%	5,222	73	164%	3,467	87	110%	5,222	73	164%	
Blu-ray Disc	邦	514	13	246%	1,924	27	268%	514	13	246%	1,924	27	268%	
	洋	4	0	20%	12	0	25%	4	0	20%	12	0	25%	
	計	518	13	227%	1,936	27	253%	518	13	227%	1,936	27	253%	
テープ・その他		0	0	173%	1	0	209%	0	0	173%	1	0	209%	
合計	邦	3,841	96	118%	7,000	98	186%	3,841	96	118%	7,000	98	186%	
	洋	144	4	117%	159	2	87%	144	4	117%	159	2	87%	
	計	3,985	100	118%	7,159	100	181%	3,985	100	118%	7,159	100	181%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			1月実績						2014年1月～2014年1月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ		12,547	76	107%	12,148	63	101%	12,547	76	107%	12,148	63	101%	
音楽ビデオ		3,985	24	118%	7,159	37	181%	3,985	24	118%	7,159	37	181%	
合計	邦	14,102	85	109%	17,049	88	122%	14,102	85	109%	17,049	88	122%	
	洋	2,430	15	112%	2,257	12	112%	2,430	15	112%	2,257	12	112%	
	計	16,532	100	109%	19,306	100	121%	16,532	100	109%	19,306	100	121%	

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			1月実績						2014年1月～2014年1月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD		5,699	82	97%	10,269	71	123%	5,699	82	97%	10,269	71	123%	
テープ・その他		1,262	18	89%	4,174	29	112%	1,262	18	89%	4,174	29	112%	
合計		6,961	100	95%	14,443	100	120%	6,961	100	95%	14,443	100	120%	

● オーディオ/ビデオ合計

			1月実績						2014年1月～2014年1月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ		12,547	64	107%	12,148	46	101%	12,547	64	107%	12,148	46	101%	
ビデオ		6,961	36	95%	14,443	54	120%	6,961	36	95%	14,443	54	120%	
合計		19,508	100	102%	26,591	100	110%	19,508	100	102%	26,591	100	110%	

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
 2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
 ※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● ミリオン

次の足跡	AKB48	2014.01.22	K
------	-------	------------	---

● プラチナ

THE BEST / BLUE IMPACT	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.01.01	AMI
------------------------	--------------------------------------	------------	-----

● ゴールド

GENERATIONS	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2013.11.13	AMI
Flower	Flower	2014.01.22	AI
COVERS 3	BENI	2013.12.18	UM

シングル

● プラチナ

ひびき	関ジャニ∞	2014.01.15	TE
ぐるぐるカーテン	乃木坂46	2012.02.22	SR

● ゴールド

スノーマジックファンタジー	SEKAI NO OWARI	2014.01.22	TF
笑顔の君は太陽さ / 君の代わりは居やしない / What is LOVE?	モーニング娘。'14	2014.01.29	EP

ビデオ

● ゴールド

SNOW DOMEの約束 IN TOKYO DOME 2013.11.16	Kis-My-Ft2	2014.01.29	AMI
B'z LIVE-GYM Pleasure 2013 ENDLESS SUMMER -XXV BEST-	B'z	2014.01.29	BG

洋楽

アルバム

● ゴールド

ベスト・ソングス	シェネル	2013.12.04	UM
ブラック・ホールズ・アンド・レヴァレイションズ	ミューズ	2006.06.28	WJ

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AI: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / AMI: エイベックス・マーケティング / BG: ビーイング / EP: アップフロントワークス(ゼティマレーベル) / K: キングレコード / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズファクトリー / UM: ユニバーサルミュージック / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信

申請区分変更に伴い、当月度は500作品を認定。

500作品の詳細は、当協会HP (<http://www.riaj.or.jp/data/others/chart/w140228.html>) を参照のこと。

有料音楽配信認定 申請区分変更について

2014年1月度認定(2014年2月20日公表)より、有料音楽配信認定の申請区分を以下のとおり変更する。

<現行>

着うた®
着うたフル®
PC配信(シングル)
PC配信(アルバム)

<変更後>



着うた®
シングルトラック
アルバム

■ 「着うた®」は変更なし

■ 従来、「着うたフル®」「PC配信(シングル)」の2カテゴリに分けて認定していたフル尺の配信楽曲は、全て「シングルトラック」として認定

■ 「アルバム」は、スマートフォンを含む「PC配信」のみを対象としていたが、フィーチャーフォンのアルバムも含み、併せて「アルバム」として認定

協会からのお知らせ

今号特集で掲載した「第28回日本ゴールドディスク大賞」に先駆け、今年と同賞のプレイベントとして2月22日に渋谷公会堂で「GOLD DISC FESTIVAL (GDフェス)」を開催いたしました。多くの皆さまにご来場いただきありがとうございます。

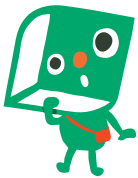


次号4月号にてレポート予定ですが、一部先行してGD専用サイトでは当日の様様をアップしておりますので、是非ご覧ください。

GD専用サイト

(PC) <http://www.golddisc.jp/gdfes/>

(モバイル) <http://www.riaj.or.jp/gdfes/>



エルマーキャラクター

エルマーくん

THE RECORD No.652 2014年3月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2014年3月17日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

若い世代の活躍が印象的だったソチオリンピック。[欲がない]と言われる「さとり世代」— [車やブランド品に興味がない] [恋愛に淡泊] [節約志向で無駄遣いをしない] 等、無駄な努力や衝突を避け、過度な期待や高望みもない合理的なライフスタイル—と、夢がない言葉で語られる現代の若者ですが、オリンピックでの生き活きた姿に従来の体育会系（気合い根性）の精神論とは別次元で柔軟に自己実現のイメージを追求する様子が垣間見えました。今年度の音楽ユーザー実態調査詳細版を当協会HPよりダウンロード頂き、現代の若者の音楽ライフの一端をご確認ください。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (<http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。